

3 市民・市職員共働のための約束

この約束は、市民ネット(市民)、まち研(市職員)の参加者が自らが提案したものをまとめたものです。

000 前提

100 参加しやすい「場」づくりと相互理解のための約束

- 110 同じ目的を共有する仲間
- 120 効果的なコミュニケーション
- 130 違いを活かしあう
- 140 積極的な関係づくり

200 建設的な話し合いと合意形成を進めるための約束

- 210 人の未来と幸せの視点
- 220 着実な合意形成
- 230 参加の技術
- 240 一人ひとりを大切に

300 スムーズな会議運営を継続するための約束

- 310 時間管理
- 320 会議情報の共有
- 330 作業の分担

前提

日進市の市民と市職員が、それぞれの経験知恵を活かし合い、オリジナリティーあふれ実効性ある環境基本計画を策定するための約束にしよう。

そのために、

- 私たちの市民プランと言えるように主体的に取り組もう
- 市民プランの着実な実現が図られるようなシステムを考えよう
- 市民プランの検証 / 評価に責任を持とう
- この約束は必要に応じて更新しよう

制 定：平成14年 5月25日

100 参加しやすい「場」づくりと相互理解のための約束

110 同じ目的を共有する仲間

- 111 共通の目的、願いを持つ仲間であるという認識を大切にしよう
- 112 楽しさ、満足感、夢のある活動にしよう
- 113 プライバシーを守ろう

120 効果的なコミュニケーション

- 121 攻撃的／批判的ではない伝え方（私メッセージ）で伝えよう
- 122 傾聴しよう（共感的に聴く）
- 123 分からないことは質問しよう
- 124 感情も上手く伝えよう
- 125 笑顔で緊張をほぐそう

130 違いを活かしあう

- 131 それぞれの持ち味、得意分野を活かし、持っている情報を共有しよう
- 132 異なる意見・少数意見も大切にしよう
- 133 固定観念から離れよう
- 134 相手の立場にも立ってみよう

140 積極的な関係づくり

- 141 楽しい明るい雰囲気を各自がつくろう
- 142 お互いよく知り合う努力をしよう
- 143 計画づくりの場以外でも積極的に交流をはかろう
- 144 積極的に参加しよう（参加した人が一番お得！）
- 145 遊び心を大切にしよう



200 建設的な話し合いと合意形成を進めるための約束

210 人の未来と幸せの視点

- 211 「未来にとってよいこと」を基準に考えよう
- 212 地球の視点に立って考えよう
- 213 理想を持って現実を考えよう
- 214 あついハートとクールな頭でいよう

220 着実な合意形成

- 221 計画づくりの2つのミッションを確認しよう
- 222 話し合いの論点を明確にしよう
- 223 市民、市職員 それぞれの役割、知識、経験を尊重し活用しあおう
- 224 グループで合意した意見は尊重しよう

230 参加の技術

- 231 アンテナを伸ばし、多様なデータを収集活用しよう
- 232 意見はなるべく具体的に出そう
- 233 多様な視点から考えてみよう
- 234 批判より質問、代案や提案を出そう
- 235 提案はメリット・デメリット両面から検討してみよう
- 236 みんなが理解できる言葉を使おう
- 237 参加型の手法を活用しよう（カード式分類、ブレインストーミング等）
- 238 休憩、雑談の時間を取ろう

240 一人ひとりを大切に

- 241 貢献できることはたくさんある！主体的に関わろう
- 242 価値観は多様であることを理解しよう
- 243 対等な立場での意見交換をしよう
- 244 公平な発言の機会をつくろう
- 245 フェアプレーの精神でいこう



300 スムーズな会議運営を継続するための約束

310 時間管理

- 311 開始、終了、発言等の時間を守ろう
- 312 遅刻、欠席は事前に連絡しよう

320 会議情報の共有

- 321 前回の復習（内容把握）をしてこよう
- 322 個別にした調整の報告をしよう
- 323 記録を残して共有しよう

330 作業の分担

- 331 作業はみんなで分け合おう
- 332 負担の片寄らない役割分担をしよう
- 333 環境まちづくり研究会は各セクションの連絡調整をしよう
- 334 市民環境ネットは市民相互の意見調整をしよう

: 2つのミッション

ミッション1

- ・ 21世紀にふさわしい環境問題に対する取組として、市民、事業者、行政（市）が一体となり、総合的かつ長期的な『環境指針』を確立すること

環境指針の3要素： ビジョン、 プログラム、 マネジメント

ミッション2

- ・ 指針が指針として、『実効性』を持つための基礎をつくること

実効性を持つための3要素： 主体性、 合意形成、 共働性

